

機械による労働災害の発生状況

図1 機械災害の発生状況（平成18年）

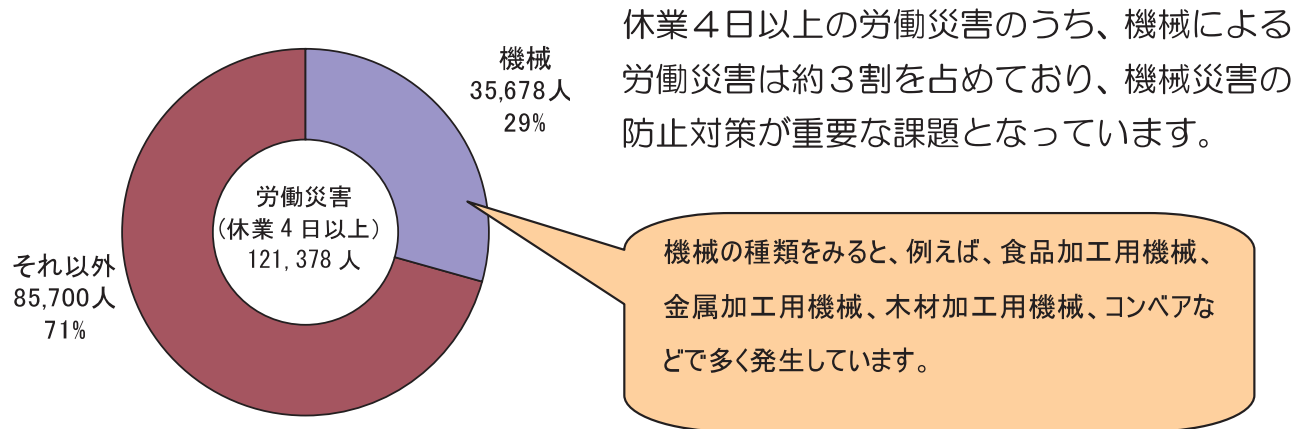
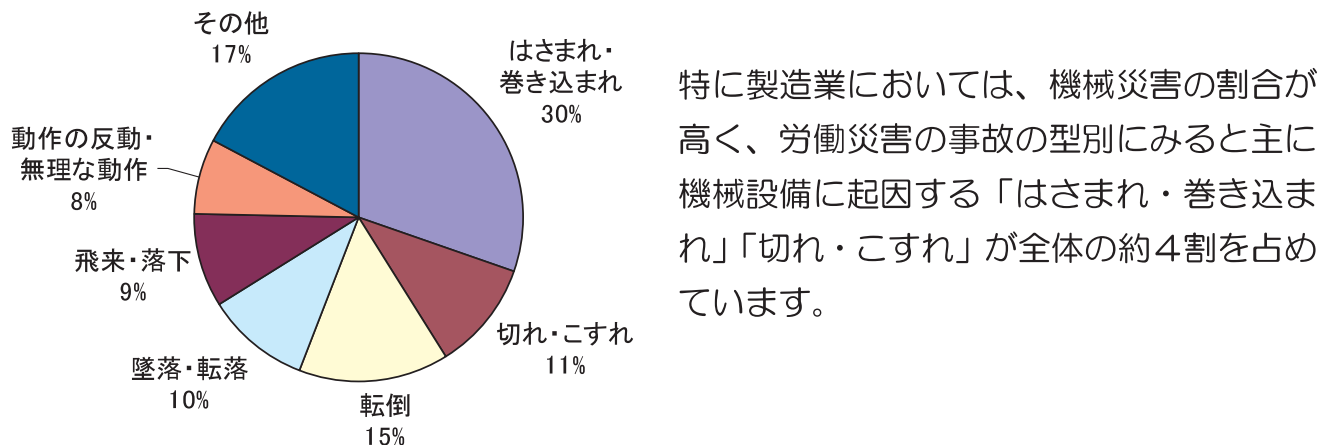


図2 事故の型別労働災害発生状況（製造業 36,670人）



機械災害の課題

- 1 機械は大きなエネルギーを有することから、指の切断など身体に障害を残す重篤な災害が少なくないこと。

平成17年機械による指の切断を伴う災害 約3,200人

- 2 機械は製造段階で安全対策を施すことにより、危険性を確実に低減させることができること。

機械の危険部分をなくす、危険部分にガードを設ける等の保護方策を講じることにより、相当の災害が防げたとのデータもあります。

- 3 非定常作業（保守点検、そうじ、トラブル処理等）時の災害も多く発生しており、このような作業を想定した対策も必要であること。

⇒ **機械メーカー、ユーザーの両者が、この機械包括安全指針に基づき、製造段階及び使用段階において機械の安全化を進めることが重要**